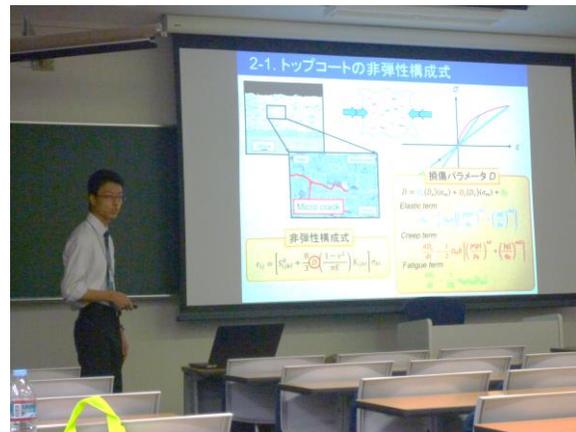
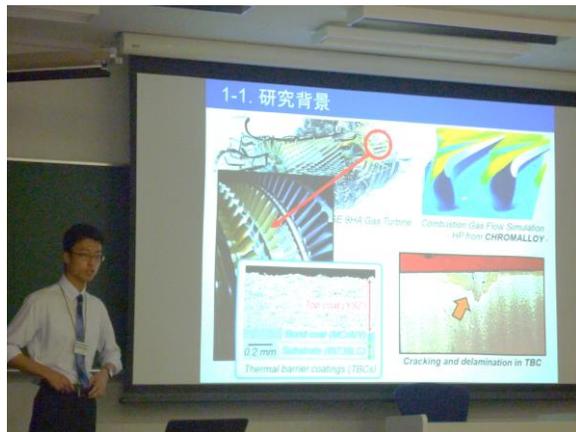


2018年度 日本機械学会 年次大会
 開催期間 2018年9月10日（月）～9月12日（水）
 場 所 関西大学 千里山キャンパス

2018年9月10日（月）



工業材料の変形特性・強度およびそのモデル化のセッションにて香取君（M2）が9：00より発表しました。タイトルは「熱疲労条件下でのセラミック遮熱コーティングの疲労き裂進展シミュレーション」です。

荒井は同時時間帯（9:00～10:45）マイクロ・ナノ機械の信頼性のセッションの座長をしておりました。



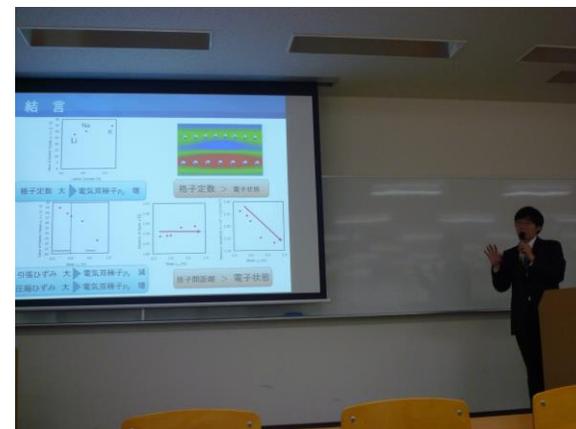
減災・サステナブル学のセッションにて伊藤先生が11:00より発表しました。タイトルは「電子基板上に堆積した火山灰によるイオンマイグレーションの発生・進展挙動に関する研究」です。



ひとまず午前中が終了。
学食で昼食です。



ワークショップ「減災・サステナブル学の展開」にて14:00～14:30の30分間にわたり荒井が「活火山の噴火プロセスに基づいたインフラ設備の損害想定について」と題して講演させていただきました。



マイクロ・ナノ機械の信頼性のセッションにて真島君（M2）が15:45より発表しました。タイトルは「ひずみ負荷と原子の違いが刃状転位の電気的性質に及ぼす影響」です。



タイトな一日が無事終了
しました。夕食は大阪お
好み焼きを堪能しました。

2018年9月11日（火）

荒井は10:00～10:15にて材料力学一般セッションにて「特異積分方程式による円孔と相互作用するき裂進展経路の予測法」と題して発表していました。



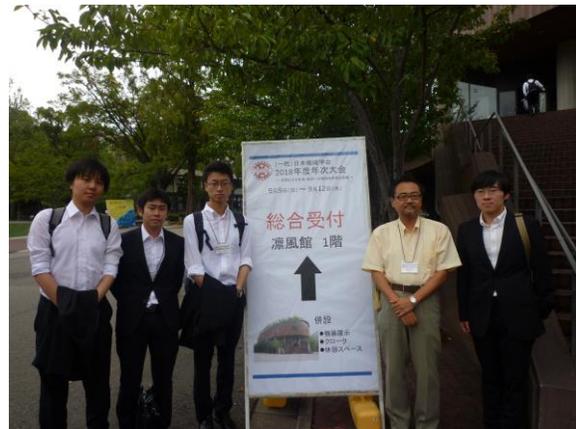
荒井が企画・司会しました基調講演「航空機向け接着技術適用に向けた課題と取り組み」と題して三菱重工 清水様より講演を頂きました（約50分）。大盛況のうちに終了いたしました。最後の写真は記念品の贈呈です。

森永君 (M2)が異種材料の接合プロセスと接合部・界面の強度・信頼性評価のセッションにて13:00-13:15「薄肉構造体へのファイバーレーザー補修技術の適用とその最適化」と題して発表しました。写真はありません。



本日の夕食は大阪王将にて餃子を頂きました。

2018年9月12日 (水)



記念撮影。



本日最終日。エネルギー材料・機器の信頼性・機器構造物の強度と評価のセッションにて黒田君（M2）が「伝達関数マトリックス法によるエルボ一部を有する配管システムの数値解析」と題して発表しました。